

「病気は回復過程である」上映会 & 事例検討会

看護を語ろう

「病気は回復過程である」とF.ナイチンゲールがその著書「看護覚え書き」の中で述べています。看護師を目指したものは、誰もがこの著書名を記憶されていることでしょう。しかし、ナイチンゲールが「看護覚え書き」を通じて伝えたかった根本を記憶し、理解しているかを振り返る機会は少ないのではないのでしょうか。

ゆいかでは数年前から「病気は回復過程である」上映会を開催し、地域や病院で働く看護師のみなさんの看護への思いを、自分たちの言葉で語り合う時間を持っています。「看護ってなんだろう」「人の治ろうとする力、その力を信じようとする力」「自分の思う看護」のほかに、日頃悩んでいること、困っていることなども話し合える場になっています。昨年の研修では、新卒の訪問看護師からのピュアな言葉に、参加者全員が看護の基本と看護師になろうとした頃の初心を思い出しました。

今年は、上映会の後に、いくつかの事例を通して看護の振り返りを行い、「看護の見える化」の実践に向けて情報共有ができるような企画にしました。

訪問看護師がどう活動すれば人々を健康的な生活に導けるかを考え、ともに活動する仲間との「顔の見える、話のできる関係」づくりの場に、どうぞご参加ください。

講師・話題提供：水取 恵子 さん

日時：平成 30 年 11 月 10 日(土) 14:00～16:30

場所：都島区片町 1 丁目 8-18 KS 片町ビル 401 号室

人といのちの自然学校 研修室 ☎ 06-6356-6072

参加申し込み

* 参加の場合のみ必要事項を記入し、切り取らずに下記宛に返信してください。

締切 平成 30 年 11 月 9 日(厳守)

11 月 10 日(土)の研修会に参加します。

事業所名()

参加者名()

子供の人数()人

返信先 FAX 06-6356-6073(訪問看護ステーションゆいか)